

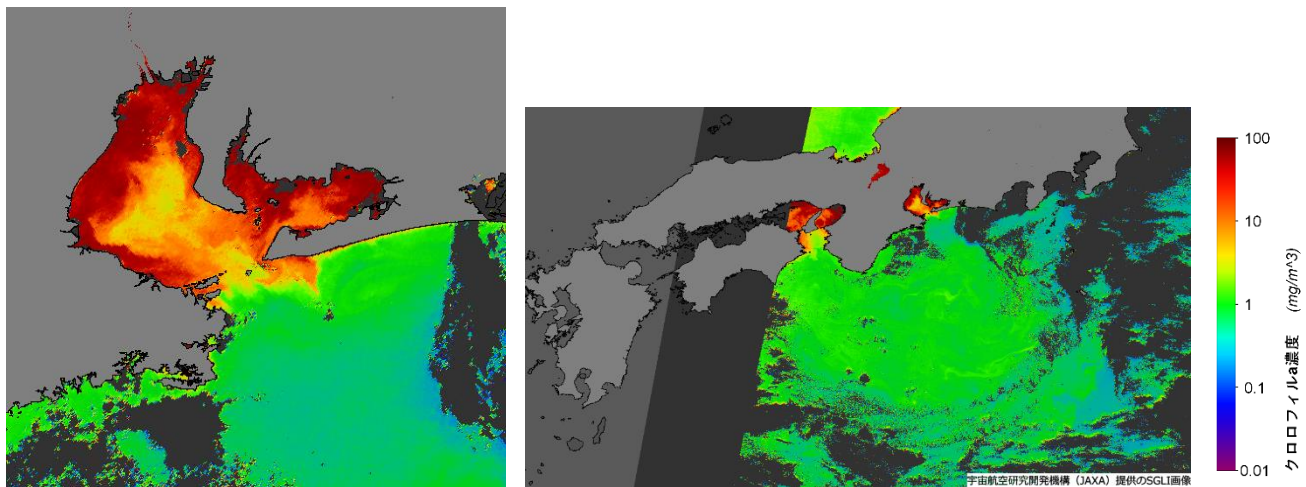
海況速報（クロロフィル a 分布）

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

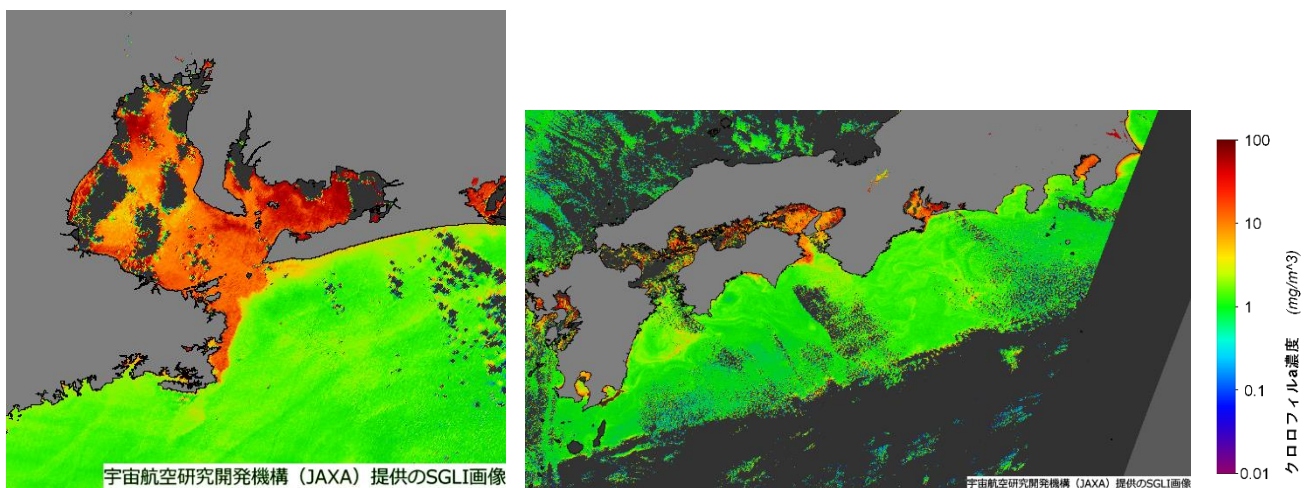
令和元年 12 月 27 日

12 月 25 日の衛星画像をみると、伊勢湾の湾奥、特に三重県側で高濃度域が広がっており、湾中央は湾奥と比べてやや低い値となっています。石廊崎沖を北上する黒潮から暖水が流入しているため、渥美外海では 20 日より濃度は低くなっています。また、最近まとまった雨が降っていないこと、暖水が沿岸まで達していることから内湾水はほとんど外海に流出していない模様です。

しきさいによるクロロフィル a 濃度分布（12 月 25 日）



しきさいによるクロロフィル a 濃度分布（12 月 20 日）

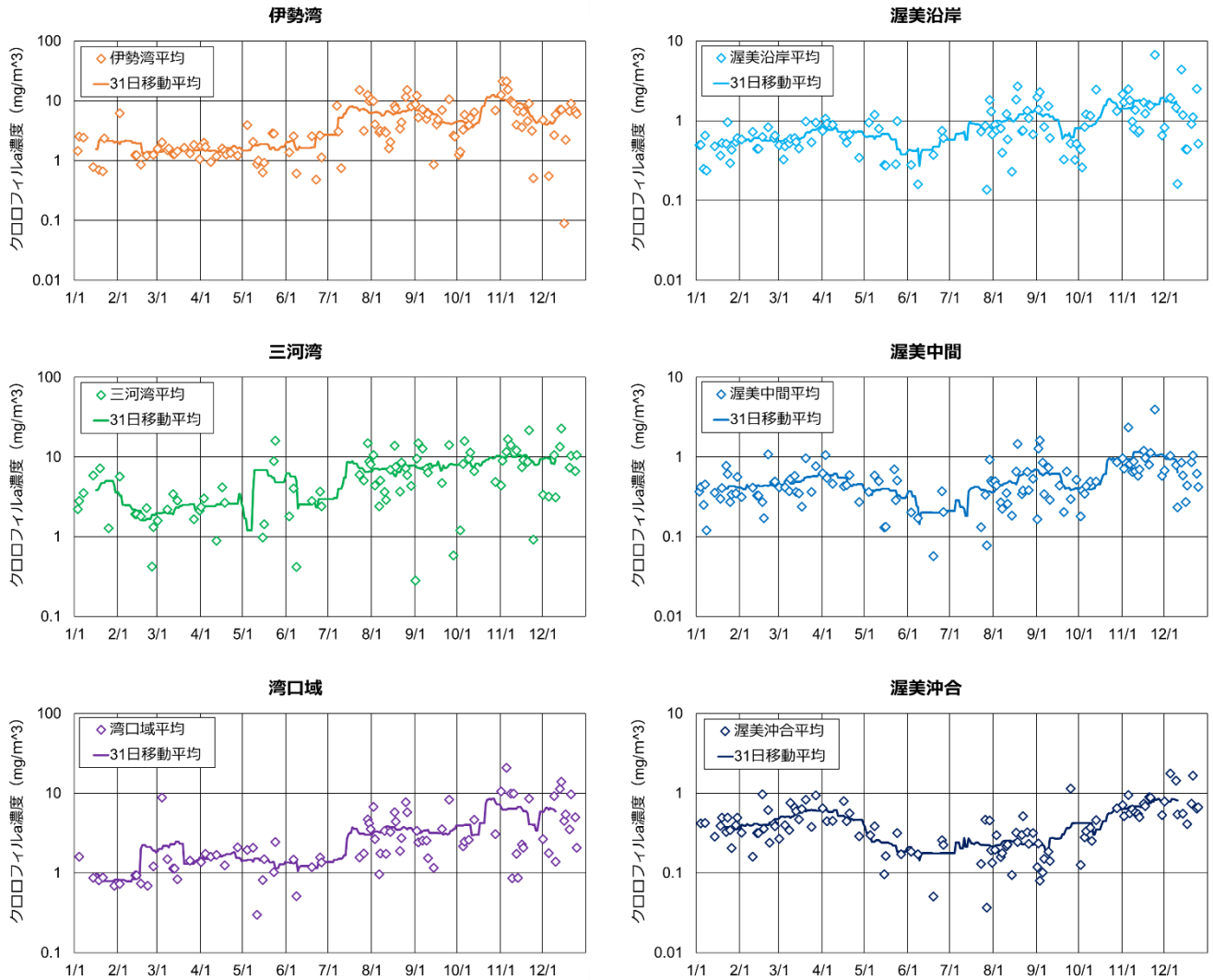


※画像データによるクロロフィル a 濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。

また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

クロロフィル a 濃度の経時変化

クロロフィル a 濃度の経時変化を見ると、伊勢・三河湾は 10 月中～下旬の降雨により 11 月上旬に高い値を示し、12 月は概ね横ばい傾向です。渥美沿岸・中間は 11 月中横ばいで推移していましたが、黒潮からの暖水流入が沿岸にも達したため、12 月中旬以降低下傾向にあります。



観測衛星「しきさい」に搭載された SGLI センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています。(令和元年 12 月 25 日までのデータ)

